
そしてピカレスク ~ 罪に濡れた愚者 ~

香川 英雄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そしてピカレスク 　　↓ 罪に濡れた愚者↓

【Nコード】

N0171N

【作者名】

香川 英雄

【あらすじ】

世界は廻る、昨日も今日も明日も

正義？ 悪？ 善？

希望？ 絶望？

この世にはすべてがあり

・・・・・・・・何もない

されど人は円舞曲を踊り狂う

終わりの始まり 序（前書き）

この駄文は作者の妄想です。ご注意ください。

終わりの始まり 序

迷い込んだ深い森は The deep forest wh
ich I was at a loss, and was c
rowded

暗く湿ったまま It is getting wet da
rkly

蜘蛛の糸？青い鳥？ Is it a spider lin
e? Is it a blue bird?

救いを求め天を仰ぐ I look up at the s
ky in search of the help

私はまだ、泣いている I still cry
音のない森 A forest without the s

ound

1話

どこ？ なに？ なんだから生温かい！？

「……………クサツ！……………」

気づけばいつもの通学路の路地裏にいた。そして、辺りは“アカク、
紅く、赤黒く”ぶちまけたように染まっていた。そう何かを……………

ナニカ？

生温かい？

そう、そこには人であったであろう‘モノ’が乱雑に飛び散っていた。

そうだ、これは私が壊したんだ。だが、なぜ、おれは何も感じない。

よくある、三文小説では吐いたり、殺人による葛藤が起こってしか
べき自己陶酔的な苦悩とやらに苛まれるはずなのに……………

何だろう、この無反応は

何だろう、この既知感は

そうだ、このあとで悲鳴とパトカーのサイレンが聞こえるんだ、
「きゃー……………」

ピーポー、ピーポー、ピーポー

こんな風に……………

「手をあげる、膝をつけ…

」じぢぢ」

西脇市合屋町……………

……………聞いているのか!?!?!」

…

・応援を頼む。」

その日の午後のワイドショーで16歳の少年による殺人事件が
報じられた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0171n/>

そしてピカレスク ～ 罪に濡れた患者～

2011年12月17日11時46分発行